

錦鯉の品種あれこれ



紅白

白地の地肌に赤い模様があるもの。赤い模様の形状によって2段・3段・稲妻・大模様・小模様などと呼ぶ。



大正三色

紅白に比較的まとまった墨斑紋が、点散するもの。大きな墨のタイプと、小さな墨のタイプがある。



昭和三色

紅白に筆で描いたようなタッチの黒斑紋を有するもの。昭和時代になって作り出された。



写りもの



山吹黄金



プラチナ



藍衣



浅黄



銀鱗紅白



五色



丹頂



孔雀



錦鯉の里

新潟県小千谷市



お問い合わせ

小千谷市錦鯉の里

〒947-0028 新潟県小千谷市城内1-8-22

☎ (0258)83-2233

URL <http://www.ojiasunplaza.jp/nishikikoi>

E-mail nishikigoi@ojiasunplaza.jp

OJIYA 周辺ROADMAP



開館時間
3月～11月 午前9:00～午後6:00
12月～2月 午前9:00～午後5:00

入館料金

区分	個人	団体(20名以上)
小・中学生	300円	250円
大人	510円	410円
学童に連れ込む	無料	

※消費税率が変更になる場合料金が変更になります。

休館日
12月29日～12月31日
1月1日～1月3日

NIGATA AREA

- インターより信号8つ目 本町1を左折
- 大駐車場完備
- 小千谷ICより5分!

交通

- 鯉馬から関越自動車道を利用して..... 約2時間30分
- 高崎から関越自動車道を利用して..... 約1時間30分
- 富山から北陸自動車道を利用して..... 約2時間
- 新潟から北陸自動車道を利用して..... 約50分
- 上越から北陸自動車道を利用して..... 約40分

施設、飼育の都合により臨時に休館する場合があります。

スタンプ

豪快



錦鯉の始まり

錦鯉が始めて出現したのは、19世紀前半の江戸時代、文化・文政の頃と言われています。新潟県の二十村郷（現在の小千谷市、長岡市の一部）で食用として飼われていた鯉に突然変異で色のついた変わり鯉が現われたのが最初です。それから改良が続けられ現在の美しい錦鯉へと移り変わりました。



華麗

庭園は4つの池と2つの滝で構成されており、4月中旬から11月までオーナーさんの鯉が泳ぎ、季節の花とともにその華麗さは、しばし時を忘れさせてくれます。



観賞池では、小千谷市で生まれ育った大きな錦鯉が大切に飼育管理されており、錦鯉の原産地ならではの優秀鯉15品種200尾余りが豪快な泳ぎをみせてくれます。

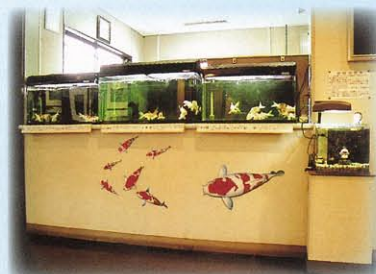
隣接しております小千谷市総合産業会館「サンプラザ」には、小千谷市の物産販売、手織り体験、食事施設等があります。（団体昼食も承ります。）

錦鯉の観賞

錦鯉の美しさの基準は、体形・色彩・斑紋の3つが基本になります。背筋が真っ直ぐでボリュームがあり均衡のとれた体形。鮮明で深みのある色彩。左右のバランスがとれた斑紋。これらを総合的に満たし品位があるほど美しいとされます。



資料展示室では、錦鯉の発祥から現在への移り変わりや、品質の説明、飼育方法、水槽飼育等が展示されております。また、随時ビデオが放映されており、錦鯉の飼育や品評会の模様がご覧いただけます。



歴史



小千谷市錦鯉の里 は、錦鯉の原産地らしく錦鯉に関する資料を展示した施設です。ご予約をいただければ係員がご案内いたします。

